

2026 年 8 月 6 日

報道関係各位

GMO TECH 株式会社

AI がお店を探るとき、頼りにしている情報は何か 約 44 万件の回答を分析、約 7 割が Google 上の店舗情報を引用

GMO インターネットグループの GMO TECH 株式会社（代表取締役社長：鈴木 亮一 以下、GMO TECH）は、Google AI モード^{（※1）} が、飲食店や病院、美容室などの店舗・施設を探す際、どのような情報を回答の根拠として利用しているのか、「Google AI 検索で引用される店舗情報の実態」を調査しました。

本調査では、ローカル検索^{（※2）} 21 業種を対象に、2026 年 5 月から 7 月にかけて 4 回にわたり、約 11 万件の検索と延べ約 44 万件の AI 回答を分析しました。その結果、約 7 割の回答で Google 店舗カード（Google 検索や Google マップ上に表示される店舗情報をまとめた表示枠）の参照が確認されました。また、AI 回答に含まれる参照情報のうち、Google 店舗カードが占める割合は、2026 年 5 月の平均 38.0% から 7 月には 48.8%へと高まりました。

今回の調査から、Google の AI 検索では Web サイトだけでなく、Google 上の店舗情報が AI 回答の重要な情報源となっている可能性が明らかになりました。

（※1）Google AI モード：Google 検索において、AI が複数の情報源をもとに回答を生成する検索機能

（※2）ローカル検索：「近くの美容室」「渋谷 ランチ」のように場所や近さを軸に店舗・施設を探す検索のこと



【調査実施の背景】

生成 AI の普及により、店舗や施設の探し方は変化しています。AI 検索では、Web サイトだけでなく、Google 店舗カードに表示される店舗名、所在地、営業時間、口コミなどの情報をもとに、候補となる店舗や施設を直接提示します。そのため、従来の SEO や MEO^{（※3）} に加え、AI に自社や店舗の情報を正しく理解・引用してもらうための GEO^{（※4）}・AIO^{（※5）} の重要性が高まっています。

そこで GMO TECH が運営する検索・AI 検索の調査研究組織であるアルゴリズム研究室は、AI 検索における引用元の傾向を定量的に把握することを目的に、調査を実施しました。

（※3）MEO（Map Engine Optimization）：Google マップなどの地図検索で、店舗や施設を見つけやすいようにする施策

(※4) GEO : ChatGPT や Gemini などの生成 AI に、自社サイト・自社ブランド・自社情報を「信頼できる情報源」として引用・言及してもらうために最適化することです。

(※5) AIO : 検索結果上で、AI が複数の情報を要約して表示する機能です。

【調査サマリー】

■約 7 割の AI 回答が Google 店舗カードを参照

今回分析した Google AI モードの回答では、約 7 割において、Google 上の店舗・施設情報と結び付く参照が確認されました。

ユーザーが「近くの飲食店」「地域の病院」「おすすめの美容室」などを検索する際、Google AI Mode は一般の Web ページだけをもとに回答を組み立てているわけではありません。Google が保有する店舗・施設単位の情報を参照しながら、候補の提示や特徴の説明を行っていると考えられます。

■参照情報に占める店舗・施設情報の割合が上昇

AI 回答に含まれる参照情報のうち、Google 店舗カード内の店舗・施設情報が占める割合は、2026 年 5 月時点の平均 38.0%から、7 月には 48.8%となりました。

観測期間内では、AI 回答を構成する情報源として、Google 店舗カードの利用割合が高まる傾向が確認されました。

これは、Google AI 検索におけるローカル検索の回答が、Web ページの検索結果を要約するだけの仕組みではなく、Google が整理・管理する店舗情報データと、より強く結び付き始めている可能性を示します。

■9 業種で Google 上の店舗・施設情報が引用の過半数を占める

2026 年 7 月 4 日時点では、9 つの業種で、Google 上の店舗・施設情報が引用全体の過半数を占めました。

飲食店やホテルだけでなく、医療機関、不動産、美容室など、利用者が地域や場所を指定して店舗や施設を探す幅広い業種で、Google 店舗カードの情報が主要な引用元となっていました。

一方で、最も比率が高い居酒屋は 87.5%、最も低いフィットネスは 9.8%で、その差は 77.7 ポイントとなりました。Google 店舗カードの情報が利用される傾向は業種によって大きく異なり、ローカル検索では業種ごとに AI の参照傾向が異なることも分かりました。

Google店舗カードの引用比率（業種別）

順位	業種	5/6	5/27	6/17	7/4	変化 (5/6→7/4)
1	居酒屋	67.9%	64.3%	77.1%	87.5%	+20.0pt
2	ホテル	63.7%	58.7%	67.8%	79.9%	+16.2pt
3	美容室	66.1%	64.0%	66.3%	71.3%	+5.2pt
4	賃貸	51.0%	43.3%	48.8%	65.4%	+14.4pt
5	内科	57.3%	51.7%	54.8%	63.1%	+5.8pt
6	皮膚科	52.1%	45.7%	49.2%	60.7%	+8.6pt
7	整形外科	50.2%	44.3%	48.7%	58.4%	+8.2pt
8	眼科	49.3%	41.2%	43.3%	52.8%	+3.5pt
9	焼肉	20.0%	18.6%	33.4%	50.5%	+30.5pt
21	最も低い(フィットネス)	3.3%	3.9%	5.5%	9.8%	+6.5pt

低 0% — 88% 高

※数値は、各時点におけるAI回答内の引用情報に占めるGoogle店舗カード内の店舗・施設情報の割合(%)

※変化は5/6時点から7/4時点の値の差(ポイント)

■ AI 検索の背後にある「店舗情報基盤」を可視化

Google AI モードの回答では、一般的な Web サイトの URL とは異なる、Google 内部店舗情報などを表示するために使われる独自形式の URL（Google 独自の表示用リンク）が参照先として含まれる場合があります。

本調査では、これらの URL 構造を解析し、店舗や施設を識別する情報との対応関係を調べました。その結果、AI 回答内の参照先を、Google 上の個別の店舗・施設情報と結び付けて分析できることを確認しました。

これにより、従来は把握しにくかった「AI がどの店舗情報を根拠として回答したのか」を、一定の範囲で定量的に観測できるようになりました。

【AI 検索時代、店舗の情報発信は「Web サイトだけ」では完結しない】

今回の結果からは、店舗や施設を探すローカル検索において、店舗名や施設名、住所、営業時間、電話番号、利用者による口コミや評価などの情報が、一つの基盤として活用されている可能性が示されました。

AI 検索への対応では、Web サイトだけでなく、Google 上の店舗・施設情報を正確かつ最新の状態に保ち、各所の情報に食い違いがないよう整備することが重要になると考えられます。

【アルゴリズム研究室の見解】

今回の調査で注目すべき点は、Google が管理する特定の情報源が多く使われていたことだけではなく、AI 検索の回答を支える参照構造を、大規模なデータから継続的に観測できたことです。

AI 検索では引用元や参照傾向が変化する可能性があるため、こうした変化を継続的に観測していくことが重要だと考えています。

今後もアルゴリズム研究室では、AI 検索における引用や推薦の変化を継続的に調査・公開してまいります。

【レポート概要】

レポート名	ローカル AI 検索の引用構造を解く 回答の約 7 割に現れる「Google 店舗カード」の正体
公開日	2026 年 8 月 6 日
レポート公開ページ	https://gmotech.jp/semlabo/seo/blog/store-information-infrastructure/ ※本レポートでは、業種別データや引用元 URL の分析結果も公開しています。

■ 調査概要

調査対象：Google AI モードにおける日本語のローカル検索回答

対象クエリ数：約 109,500 件

観測回答数：4 時点合計で延べ約 44 万回答

総集計データ：回答と引用 URL の組み合わせ延べ約 75 万件

対象業種：実店舗または施設を持つ 21 業種

比較対象：保険、クレジットカード、転職の 3 業種

観測時点：2026 年 5 月 6 日、5 月 27 日、6 月 17 日、7 月 4 日

分析項目：回答内における店舗・施設情報の出現率、引用比率、URL 構造

データソース：Ahrefs Brand Radar の「cited-pages」および「ai-responses」

対象地域：日本

調査・分析：GMO TECH アルゴリズム研究室

※割合は調査対象データをもとに算出しています。

※本調査結果は、すべての検索クエリや回答に共通する挙動を保証するものではありません。

【アルゴリズム研究室について】

アルゴリズム研究室は、GMO TECH 株式会社が運営する、検索アルゴリズムおよび AI 検索に関する調査・研究組織です。

検索結果や AI 回答の大規模な観測・分析を通じて、企業や店舗の情報が検索サービス上でどのように評価、推薦、引用されるのかを研究し、その結果をレポートとして公開しています。

前回の調査では、AI が店舗やサービスを推薦する際の回答傾向を分析し、「AI 推薦の文法」として発表しました。今後も、AI 検索の変化を複数の角度から継続的に観測してまいります。

【GMO TECH について】



GMO TECH 株式会社は、AI と SaaS を活用し、企業の売上成長と業務効率化を支援するテクノロジー企業です。

店舗集客 DX SaaS「MEO Dash! byGMO」をはじめ、SEO・MEO・AI マーケティング領域における集客支援事業を展開するほか、不動産 DX SaaS「GMO 賃貸 DX」による業務効率化支援、アフィリエイト広告、インターネットメディア、決済サービス事業などを展開しています。

独自の AI 技術と自社開発プロダクトを強みに、AI が業務の中で継続的に価値を発揮できる仕組みづくりを推進し、企業のデジタル活用と持続的な成長を支援しています。

以上

【報道関係お問い合わせ先】

- GMO TECH ホールディングス株式会社
広報部 小林
TEL : 03-5489-6370 FAX : 03-5489-6371
E-mail : hd-press@hd.gmotech.jp

【サービスに関するお問い合わせ先】

- GMO TECH 株式会社
プロダクトマーケティング事業本部 営業部
TEL : 03-4405-0939 (直通) FAX : 03-5489-6371
E-mail : pm-marketing@gmotech.jp

●GMO インターネットグループ株式会社

グループ広報部 PR チーム 倉田

TEL : 03-5456-2695

お問い合わせ : <https://group.gmo/contact/press-inquiries/>

【GMO TECH 株式会社】(URL : <https://gmotech.jp/>)

会 社 名	GMO TECH 株式会社
-------	---------------

所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役社長 鈴木 亮一
事 業 内 容	AI で未来を創る 1. 店舗集客 DX SaaS 事業 2. 不動産 DX SaaS 事業 3. Web マーケティング DX 事業 4. インターネットメディア事業 5. 決済サービス事業 6. 上記を含む AI・SaaS 関連全般 7. その他インターネット集客事業
資 本 金	1 億円 (2025 年 12 月末時点)

【GMO TECH ホールディングス株式会社】(URL : <https://hd.gmotech.jp/>)

会 社 名	GMO TECH ホールディングス株式会社 (東証グロース市場 証券コード : 415A)
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役社長 CEO 鈴木 明人
事 業 内 容	連結会社の経営管理ならびにこれに付帯または関連する業務
資 本 金	1 億円 (2025 年 10 月 1 日時点)

【GMO インターネットグループ株式会社】(URL : <https://group.gmo/>)

会 社 名	GMO インターネットグループ株式会社 (東証プライム市場 証券コード : 9449)
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役グループ代表 熊谷 正寿
事 業 内 容	持株会社 (グループ経営機能) ■グループの事業内容 インターネットインフラ事業 インターネットセキュリティ事業 インターネット広告・メディア事業 インターネット金融事業 暗号資産事業
資 本 金	50 億円

Copyright (C) 2026 GMO TECH, Inc. All Rights reserved.